

With atré

アトレとともに未来へつなぐ

interview

アトレに関わる すべての人とのつながりを深め、 「ありがとう」を増やしていきたい

株式会社アトレ 代表取締役社長
高橋弘行



1967年生まれ。90年に東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）に入社。総務や経営企画、営業の各部門を経て、東京支社営業部長、本社営業部次長を歴任し、2017年に株式会社びゅうトラベルサービス代表取締役社長就任。19年にJR東日本執行役員営業部長、21年にJR東日本常務執行役員を経て、23年6月から現職。

「人生に欠かせない」「100年先もあり続けてほしい」。そんな存在になるために、アトレは様々な取り組みを行っています。お客様やステークホルダーとの関わり、環境保全、そして社員の働きがいや人材育成に関わる制度。それらを通してアトレに関わるすべての人のウェルビーイングを高めることへの想いを、代表取締役社長・高橋弘行が語ります。



アトレ大森

地域とのつながりを深める取り組み

会社を取り巻く環境は年々変わってきています。ESGやCSRはもとより、近年ではSDGs、ウェルビーイングといった様々な言葉が広まっているように、ステークホルダーの皆様方からの社会的な要請も様々に変わりつつあります。そのような変化に対し、我々もしなやかに変わっていく必要があると考えています。

コロナ禍を経て、私たちの生業であるショッピングセンターの仕事も、お客様との向き合い方もずいぶん変わってきました。そのようななかで課題になっているのは、“次”につながる会社をいかにつくっていくかということ。お客様と一緒に作りあげているアトレの価値を深めていくことや、約400名の社員一人ひとりが個性を発揮しながら、お客様にアトレをより好きになってもらえる館づくりをすることに注力し、永続的に存続していけるような経営が求められています。

アトレのサステナビリティへの取り組みを語るうえで、地域とのつながりが欠かせません。そのひとつが、アトレのある街の学校や企業等と連携し、街の特色を活かした賑わいを創出する活動です。「アトレ吉祥寺」は、成蹊大学経済学部の授業の一環として最低生活費調査（MIS調査）に協力。「アトレ大森」はしながわ水族館とコラボレーションし、同館で飼育しているマゼランペンギンと会えるグリーティングイベントや、生き物のパネルを設置するなどのイベントを開催しました。

街のカラーを映した「ここにしかない」館づくり

アトレでは「100の街があれば、100の顔のアトレ」というミッションのもと、各店ごとに異なる、地域のニーズに合わせた館



アトレ取手

づくりを意識しています。たとえば、アトレ初の“エキゾ”物件である「アトレ竹芝」は、文化芸術の発信拠点である複合施設「ウォーターズ竹芝」の一員として、竹芝エリアの新たな価値をつくり出しています。コンセプトは「感性に、遊び場を。」。都心では大変まれな水辺と緑を望むロケーションを活かし、エキゾならではのアート・音楽の祭典や、地域の文化施設団体と連携したイベントの企画・実施など、新たなコンテンツづくりに挑戦しています。

茨城県にある「プレイアトレ土浦」も特徴的です。土浦は近傍に霞ヶ浦という大きな湖があり、国内外からたくさんのサイクリストが訪れます。そこで「プレイアトレ土浦」では、サイクリストの方々に楽しんでもらえるイベントを開催したり、サイクリングのあとそのまま宿泊できるようなホテルを併設することにしました。ここを訪れ、帰路につくまでの時間を、ずっと楽しんでいただけるような空間を提供しています。

同じく茨城県にある「アトレ取手」では、近くにキャンパスを持つ東京藝術大学と連携し、芸術や美術にフォーカスするような活動を行っています。その拠点となっているのは、アトレの館内に設けた、アートを介してコミュニティをつくることを目指す文化交流施設「たいけん美じゅつ場 VIVA」。ここでアートプログラムや街づくりのフォーラム、展覧会などの様々なイベントを開催し、アートを通して人と街をつないでいます。

ショッピングセンターだからこそできる、 地球環境へのアプローチ

環境保全活動については、まずは地球環境の変化に対してしっかりと取り組むことが重要だと考えています。COP（気候変動に関する最大の国際会議）や国連では、温暖化をはじめとした地球の気候変動への対策が世界的な課題として取り上げられており、国としてだけでなく企業単位で行動することが求められています。

また、脱炭素社会に向けて、アトレはもとより、JR東日本グループとしても2050年度に「カーボンニュートラル」または「カーボンゼロ」を目指すことを掲げ、GXを意識していろいろな取り組みを行っています。アトレは大きなインフラとしてのショッピングセンターを持っていますので、化石燃料だけではな





く、たとえば再生可能エネルギーから電力供給を受けることによって、脱炭素に貢献することも可能ではないでしょうか。さらに、様々な廃棄物をエネルギー化するなど、サーキュラーエコノミーの視点も取り入れたいと考えています。これらはすぐに結果が出るものではないかもしれませんが、それでも、私たちと未来をつなぐために、環境課題に対してできるかぎりのことをテナントオーナー様と連携しながら具体的な取り組み目標やKPIを意識して進めていきます。

社員のウェルビーイングを高める働き方や 人材育成の制度

アトレでは、多様な価値観やライフスタイルを持つ社員一人ひとりのウェルビーイングを高め、能力を最大限に発揮できるようにするための社内制度を設けています。育児や介護を含むライフイベントに合わせた働き方の制度はもちろん、働きながら様々なことにチャレンジできる仕組みも早くから整えてきました。

本社でのフレックスタイム制度はすでに定着していますし、現在は月に8回を限度に在宅勤務を認めるテレワーク制度も導入、副業も認めています。それから、一度退職した方を再雇用するキャリアリターン制度も特徴的な取り組みです。新卒採用だけでなく、年間を通じて中途採用を行っているので、多様な採用形態も含めた対応を実現させています。



アトレ竹芝

ほかに、ショッピングセンターの運営業務に関わる資格の取得支援や自己啓発など、自分を磨くための制度も充実させています。さらに近年では、社内制度について広く意見を募ることを目的とした、従業員サーベイという仕組みも開始しました。そこで挙げたことがかならず改善できるわけではないのですが、優先順位をつけて対応を進めながら、社員のみなさんがより働きやすくなるよう環境を整えています。

人材育成の取り組みでは、社内外の研修制度のほか、「他部署の気になる仕事を体験してみたい」「専門知識を得たい」という社員に対して社内インターンシップの制度も設けています。また新卒社員には、アトレに出店いただいているテナントオーナー企業様にご協力いただき、半年間から1年間をめどにショップの仕事をさせていただく出向の機会もあります。そうすることで、出向終了後、テナントオーナー様やショップと仕事をするにあたって相手の視点に立って考えることができます。

プライドを持ち、のびのびと働いてほしい

柔軟な就労環境を活かした働きがい生きがいへと結びつけるものとして、アトレには“社員一人ひとりがアトレが好き”という特長があると感じます。居心地のよさや、会社のために仕事をしたい、末永くここにいたいという想いを醸成する雰囲気があるのではないのでしょうか。そのことを阻害せず、社員がのびのびと働けるような環境を整えていくのが、経営側の役割だと思っています。社員のみなさんには、ぜひ自分がやっている仕事に誇りを持っていただき、その仕事は誰かの役に立っていて意義があるということ、しっかり意識してほしいと思います。社員がいることによって会社が成り立っている、それぞれの仕事にしっかりと意味づけをしていきたいと思っています



プレイアトレ土浦



アトレ目黒

し、そのうえで一人ひとりが矜持を高めていけることが重要だと考えています。

そしてなによりも、楽しく仕事をしてほしい。マネジメントのスタイルのひとつに、イソップ物語の『北風と太陽』になぞらえた「北風と太陽のマネジメント」というものがあります。これは、北風型は受動的、太陽型は能動的に仕事を進めるよう促すというもの。学術的な研究では、太陽型は北風型に比べ2.5倍の成果を生む一方で、疲労度は9分の1で済むという結果が出ています。受動的にこなすか、能動的に取り組むかによって、結果はまったく違うものになるのです。ならば能動的に楽しくやろうと。ですから社員には、プライドを持ちながら、ぜひ能動的に生き生きと働いていただきたい。それに対して私は、最大限リスペクトを示していきたいと思っています。

現場に足を運ぶことで気づけることが たくさんある

私はアトレ各店によく足を運んでいるのですが、それは現場の社員とコミュニケーションをとるためです。というのも、お金を生んでいない私が生活できているのは、お客様と接点を持っている現場の社員がいるからこそなんです。そういう側面を考えても、現場の方々を大事にするのは社長として当然だと思います。言葉をお交す機会をたくさん持つことによって、みなさんがいまなに困っているのか、仕事のなかで楽しいと感じるのはなにか、どういうふうにお客様と接点を持っているのかなど、本当にいろんなことが見えてきます。すると、よりよい就労環境をつくるために自分がなにをすべきかということについて、新しい気づきや発見が得られるんです。

最初は私が顔を見せることで構えてしまうところもあったかもしれませんが、いまはもう、突然訪れてもあまり驚かなくなりました。「また来たな」という感覚だと思います(笑)。それはとてもありがたいことで、おかげでいろんな話が気軽にできるようになりました。私自身、鉄道の駅の方々と一緒に仕事をする期間が長かったですし、旅行会社で社長を務めていたとき



アトレ品川

は、店舗で旅行商品を売っている方々と話をする機会をたくさん持つようしていました。社長である私が現場に足を運ぶことで、経営陣にも現場を知りたいという意識が芽生えるので、これからも続けていきたいと思っています。

アトレが人生のピースになれることを目指して

この先を考えるうえで、遠い未来、たとえば100年後のアトレはどのようなになっているだろうと想像することがあります。そのとき思うのは、アトレに関わる方々の人生のなかで、アトレの存在をより色濃くものにしたいということ。LTV（ライフタイムバリュー：顧客生涯価値）という言葉がありますが、社員はもちろん、ショップクルーやテナントオーナー様、そしてお客様に対してアトレが関わる時間を増やし、人生のピースになれば素敵だなと思っています。

アトレのLTVを高める要となるのは、ショップクルーやステークホルダーとのコミュニケーションの総量だと考えています。ただし、接点があるイベントをたくさん開けばいいというわけではなく、関わり方の深度も重要です。そういう定性的な総量によって、LTVは色濃くなるのではないのでしょうか。ビジネスですから、定量データを求め続けることも必要なため、定量データと定性データをバランスよく追っていくことが大切だと思います。

アトレはいま、25の館を持っていて、1日約50万人のお客様にお越しいただいています。言い換えれば、50万回の「ありがとうございます」が生まれているんですね。それこそが、お客様や社員のウェルビーイングにつながる定量的な数でもあります。「ありがとう」を増やし、アトレに関わるすべての人のウェルビーイングを高めるために、今後もより多くのお客様に来店していただけるよう、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

アトレが大切にしていること



アトレのミッション

100の街があれば、 100の顔のアトレ

ひとつとして同じ街がないように、ひとつとして同じアトレはありません。

私たちは、その街ならではの風土や文化、歴史を捉えるためにマーケティングを重視しています。

「街の玄関口」として、駅の改札を出たときに街の雰囲気を感じられるような館づくりを行うとともに、「街の顔」として、様々なライフシーンに応えられるよう、その街に合ったリーシングやプロモーションの実施、地域とのつながりを活かした取り組みを行っています。

アトレは、街の魅力を最大限に引き出し、街とともに成長していきます。

企業理念

お客様と地域の皆様に 新しい価値を …いつまでも、しなやかに

私たちは、街のたたずまいやお客様の暮らしに寄り添い、日々を彩る楽しさや新たな出会いをお届けしたいと考えています。

世の中がめまぐるしく変わっていく中で、その変化にしなやかに対応し、さらにその先にあるお客様の満足や価値ある地域社会の未来に向けて貢献していきたい、私たちの企業理念にはそんな思いが込められています。

いつもアトレが「きらめく街、ときめく暮らしの、はじまりに。」そうありつづけられることを目指し、「100の街があれば、100の顔のアトレ」というミッションに取り組んでまいります。

アトレが提供すること

きらめく街、 ときめく暮らしの、 はじまりに。

私たちは、いつの日にも魅力あふれる街の入口でありたいと考えます。そのために、お客様にとって「いつでも新しい発見や出会いがある場所づくり」「花や緑で彩られ誰もが心地よくほっとするような空間づくり」に取り組んでいます。アトレを楽しむことは、その街のよさや雰囲気を知ることでもあり楽しむことでもあります。

“街と人の接点として毎日立ち寄りたくなる、暮らしを豊かに彩る”私たちはそんな存在を目指しています。

atréの由来 アトレの語源は、「魅力」を意味するフランス語「attrait」。「attrait」には、愛着、好み、魅惑という意味もあります。

アトレのサステナビリティ

With atré
アトレとともに未来へつなぐ

アトレは、世の中の変化にしなやかに対応し、100年先もその先も、魅力的なライフスタイルを提案し続けるために、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。アトレに関わるすべての方々と手を取り合い、街、環境、人との架け橋となって、よりよい未来へつないでいきたい。これが、アトレのサステナビリティへの思いです。

society



With atré
人と街をつなぐ



街づくり、場づくり、人づくりといった活動を通じてアトレのある街の地域共創や魅力発信に取り組んでいます。行政、学校、福祉、地元団体とも連携しながら地域とのつながりを深めコミュニティの形成や街の活性化に貢献していきます。

environment

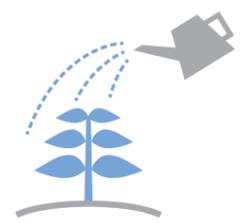


With atré
私たちと未来をつなぐ



地球環境を保全し未来へつなぐために地球環境への負荷低減に向けた様々な取り組みを実行しています。CO₂や廃棄物の排出量削減リサイクル率の向上など今後も脱炭素社会・資源循環型社会の実現を目指します。

human



With atré
働きがいと生きがいをつなぐ



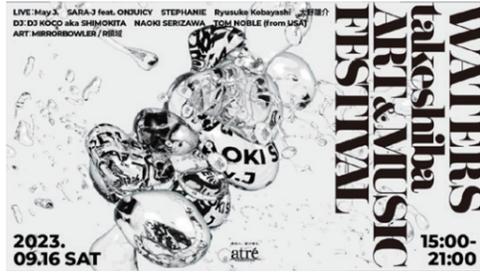
人権尊重の取り組みをはじめお客様や地域の方々ショップクルーが安心して過ごせるよう居心地の良い環境やアメニティの充実を図っています。また、多様な社員一人ひとりが活躍できる人材育成や働き方の選択などウェルビーイングを高める取り組みを推進していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社アトレは、国連が掲げる持続可能な開発目標 (SDGs) に賛同しています。

人と街をつなぐ society with atré

地域共創・価値創造



アトレ竹芝

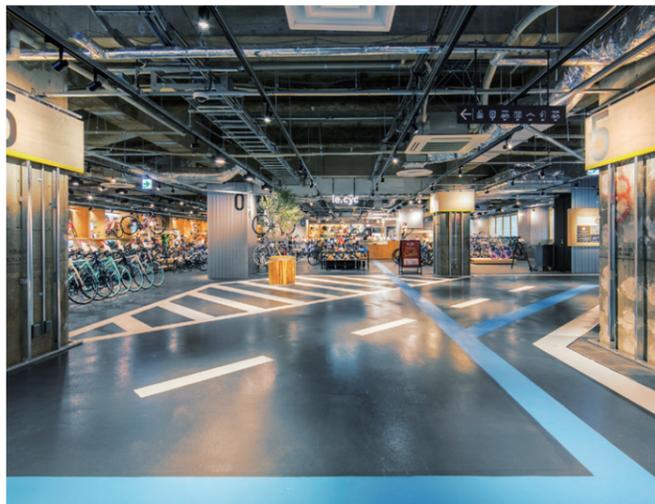
水辺のロケーションを活かした新たな街づくり

アトレ竹芝はアトレ初のエキソト物件。大型開発が進行している浜松町・竹芝・芝浦エリアに、文化芸術の発信拠点として先行開業した複合施設「ウォーターズ竹芝」の一員として、劇場・ホテル・オフィスをはじめ、様々な事業者と共に、竹芝エリアの新たな価値を創造しています。「感性に、遊び場を。」をコンセプトに、強みである水辺と緑を望む都心では稀有なロケーションを活かし、エキソトならではのアート・音楽の祭典や、地域の文化施設団体と連携したイベントの企画・

実施など、新たなコンテンツづくりに挑戦しています。2023年度は、音楽とアートに触れる新感覚の野外フェス『WATERS takeshiba ART&MUSIC Festival』を2023年9月16日(土)に開催しました。また、7月21日(金)～9月22日(金)の毎週金曜日、都会のオアシスから東京湾の絶景を眺めることができるミュージック・パーティー『WATERS takeshiba MUSIC FRIDAY』を開催するなど、地元の方々に憩いの場を提供しています。

ブレアトレ土浦

地域資源を活用した日本最大級のサイクリングリゾート



ブレアトレ土浦は、2018年3月、ナショナルサイクルルート「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を核に、サイクリングを楽しむ国内最大級のサイクリング特化施設としてオープンしました。館内には官民一体で整備したサイクリング拠点施設「りんりんスクエア土浦」やサイクリングホテル「星野リゾート BEB5土浦」があり、地域の皆様と連携し、首都圏での情報発信、賑わいの創出やコトづくり、街づくりを進めています。

2020年度にグッドデザイン賞受賞、2021年度には国土交通省自転車活用推進功績者表彰、さらにJapan Branding Awards 2021にてRising Stars賞を受賞し、デザイン・運営・ブランディングなど多方面で高い評価をいただいています。

2023年度は、2023年10月～12月にかけて茨城県で開催された観光キャンペーン『茨城 destinations キャンペーン』に合わせ、自転車とキャンプをテーマにした旅イベント『BIKE & CAMP KANTOU23』や、霞ヶ浦一周のサイクリングイベント『いばらきK1ライド2023』を開催。その他にも茨城の食・地酒をテーマにした企画を多数展開しました。

人と街をつなぐ society with atré

アトレ取手

産官学連携による アートを通じた コミュニケーション

アトレ取手では、産官学連携事業として、東京藝術大学・取手市・JR東日本・アトレとの四者連携による“サステナブルなまちづくり”の拠点として、「たいけん美じゅつ場 VIVA」の運営を行っています。

「VIVA」は、アートを介したコミュニケーションを通じ、自分とは違う考えを楽しみながら人々が共にいられる、しなやかで自由な空間。人と人、人と作品を結ぶ「アート・コミュニケータトリばア」は、VIVAを拠点に対話

型鑑賞プログラムや自主企画を行うなど、VIVAの案内人として活動しており、アトレ取手とともに、創造的でサステナブルな社会をつくる取り組みを進めています。

2023年度は、取手市内の小中学校7校と連携した出前授業とVIVAでの鑑賞ツアーを開催。さらに2023年11月25日(土)・26日(日)には、「取手藝祭2023」の第二会場として『ヤギの目ピエンナーレ』をはじめ、各種展示やワークショップイベントなどを初開催しました。



アトレ各店

土浦市の耕作放棄地を利用した 体験型農園「アトレのはたけ」



地域活性化の一環として、アトレのある街の耕作放棄地を再生する「アトレのはたけプロジェクト」を立ち上げ、2017年3月にJA水郷つくばと連携し、茨城県土浦市に体験型農園「アトレのはたけ」を開園しました。

JA水郷つくばとの協働で、農作物の栽培や食文化の発信、農業体験イベントの開催などを行い、新しいコトへのチャレンジや地域との連携、絆づくりを進めています。

2023年度は『アトレのはたけ いもほり体験&「星野リゾート BEB5土浦」1泊ツアー』を開催するなど、お客様との収穫体験を行いました。なお、2023年度はジャガイモやサツマイモなど8種の作付けを行ったところ、総収穫量は2tを超え、地元の方々への配布やショップのメニュー開発などに活用されています。



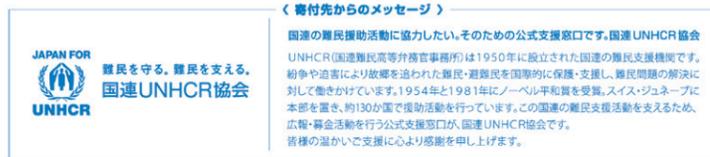
アトレ各店

アトレ×国連UNHCR協会による
難民支援のための募金活動
『国連難民支援キャンペーン』が11年目に

2013年より、国連の難民支援機関である国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の活動を支える日本の公式支援窓口、特定非営利活動法人国連UNHCR協会と協力した難民支援の募金活動『国連難民支援キャンペーン』をアトレ各店で開催しています。

2022年までの10年間で開催した募金活動は計69回。約2,500名のご支援者様から累計で5億円相当を超えるご支援（ご加入いただいた毎月支援額の12ヶ月換算）を頂戴し、難民援助活動に役立てられています。

2023年度は、アトレ8店で計10回のキャンペーンを開催し、総支援者数219名、総支援額727万円相当（毎月支援額の12ヶ月換算）のご支援をいただきました。お客様と地域の皆様とともに、持続可能な環境・社会を実現するための様々な取り組みを今後も行っていきます。



＜書付先からのメッセージ＞

国連の難民援助活動に協力したい。そのための公式支援窓口です。国連UNHCR協会（国連難民高等弁務官事務所）は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に向けて働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、約130か国で援助活動を行っています。この国連の難民支援活動を支えるため、広報・募金活動を行う公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。皆様の温かいご支援に心より感謝を申し上げます。

アトレ恵比寿

日々頑張るママさんとパパさんを応援する
『mama × papa Fes!』を開催

アトレ恵比寿では、2023年9月15日（金）～29日（金）、お子様の一時預かりサービスや雑誌『VERY』と有隣堂のコラボイベントなど、頑張るママさんとパパさんを応援する『mama × papa Fes!』を開催しました。

あわせて、本館3階授乳室が9月15日（金）にリニューアルオープン。日ごろご利用いただいているママさんたちのお声を取り入れながら計画を行い、壁紙にはアトレ恵比寿からママさんとパパさんへのメッセージも書かせていただきました。ママさんやパパさんの背中をそっと押すようなイベントやサービスを今後も充実させていきます。



アトレ大井町

見て・体験して鉄道を楽しめる
『大井町 TRAIN FESTIVAL』開催

アトレ大井町では、2024年1月6日（土）～13日（土）、数々の鉄道模型コンテストで優秀な成績を収めてきた「私立青稜中学校・高等学校」（東京都品川区）の鉄道自動車部と、鉄道車両基地・工場である「JR東日本東京総合車両センター」（東京都品川区）との合同企画、『大井町 TRAIN FESTIVAL』を開催しました。鉄道ジオラマの展示や鉄道模型運転体験会、JR東日本東京総合車両センターで働く社員から電車の仕組みを学べる授業など、様々なコンテンツを展開しました。

アトレ新浦安

19回目となる
『アウトサイダーアート展』を開催

アトレ新浦安では、2023年9月22日（金）～28日（木）、『アウトサイダーアート展』を開催しました。地元の社会福祉法人「パーソナル・アシスタンスとも」の各事業所の利用者のみなさんがつくりあげた力作52点を展示。6歳から61歳と幅広い世代が制作した作品は、画用紙に色鉛筆や水彩絵具で描かれたものが多く、作品のパワーが見る人の心に伝わる、すばらしい展覧会となりました。

2010年にスタートし、今回で19回目となりましたが、今後もこのような地域とのつながりを感じられるイベントを数多くお届けしていきます。



アトレ松戸

ジェフユナイテッド市原・
千葉レディースとのコラボイベント
『おやこふれあいフェスタ！
in 21世紀の森と広場』を開催

アトレは、2023年12月より「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース」のレディーススポンサーを務めています。2024年3月17日（日）に、松戸市の後援のもと、コラボレーションイベントを開催し、多数の親子連れの方々にご参加いただきました。

当日は、地元松戸市出身の上野紗稀（うえのさき）選手をはじめ、計7名のジェフ千葉レディースの選手や三上監督にもご参加いただき、ふれあいサッカー体験などを通じてお子様にサッカーの魅力を伝えていただきました。今後も地域社会とのつながりを大切にしながる街の魅力向上につながる取り組みを展開し、ジェフ千葉レディースと地域を結ぶ様々な仕掛けやサポートを続けていきます。

私たちと未来をつなぐ environment with atré

環境方針・環境目標

環境方針

株式会社アトレは、駅と街を結ぶ多彩なショッピングセンターを展開する商業ディベロッパーとして、地球環境の保全および改善に貢献することが社会的責任であると考え、以下の内容に全社を挙げて取り組みます。

脱炭素社会への貢献

- JR東日本グループが掲げる環境長期目標「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」をもとに、グループの一員として2050年度のCO₂排出量実質ゼロを目指します。
- 環境に配慮した高効率機器の導入や運用改善に取り組み、省エネ化を推進します。

サーキュラーエコノミーへの移行推進

- ショップと協力し合いながら、当社事業およびショップから排出される廃棄物排出量の削減・リサイクル率の向上に努め、3Rの取り組みを推進します。

環境意識の向上

- 環境をテーマにした社会貢献活動やイベント等の環境施策に取り組みます。
- 環境意識に関する社内の風土づくりを推進するため、セミナーなどを通じた教育・啓発活動に積極的に取り組みます。

環境目標2030

項目	環境目標	具体的な取り組み	
脱炭素社会への貢献	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量 2019年度比 50%削減	● 再生可能エネルギーの利用拡大
	省エネ化の推進	電気・ガス等の使用量原単位 5年度平均 1%削減 ※原単位は使用熱量を「延床面積×営業時間」で除したものである ※熱量換算係数を省エネ法に準じた係数に変更 ※環境保全法令の遵守に対応	● 節電の実施 ● 夏のライトダウンの実施（一部の館を除く） ● 環境に配慮した高効率機器の導入や運用改善
サーキュラーエコノミーへの移行推進	廃棄物の削減およびリサイクル率の向上 ※一般廃棄物・産業廃棄物・食品廃棄物・プラスチック	一般廃棄物リサイクル率 100%	● ゴミ分別の徹底
		産業廃棄物リサイクル率 100%	
	食品廃棄物原単位 2020年度比 50%削減	● 生ごみ処理機の導入 ● フードロス削減施策の実施	
	プラスチック排出量原単位 2019年度比 30%削減	● プラスチック製品の代替素材への切替推進	
環境意識の向上	環境をテーマにした社会貢献活動への参加やイベント等の環境施策の実施	● 衣料品回収活動の実施 ● 地域清掃活動への参加 ● 施策の社内外への情報発信	
	環境データの共有やセミナー・啓発活動の実施	● 各館ごとの環境データの共有 ● 社員向けセミナーの実施	

私たちと未来をつなぐ environment with atré

脱炭素社会への貢献

JR 東日本グループ ゼロ・カーボンチャレンジ 2050



JR東日本グループの一員として、CO₂排出量を2030年度までに「50%削減」、2050年度までに「実質排出量ゼロ」を目指す「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」に参画しています。アトレ全店において省エネを徹底し、設備機器における環境に配慮した高効率機器への切り替え、再生可能エネルギーの導入等を計画的に進め、CO₂排出量削減に努めていきます。

CO₂排出量の削減

2023年度は低炭素エネルギーへの切り替えや高効率機器の導入により、前年比10.8%のCO₂を削減しました。2024年度はさらに、食品廃棄物をバイオガス化し、生み出された再生可能エネルギーをJR東日本グループ内で活用する「電力ループ」に参画するなど、環境価値を活用した再生可能エネルギー化を行い、2030年度にカーボンハーフを目指します。



省エネ法への対応

2023年度は猛暑の影響などにより、エネルギーの使用量が増加しました。エネルギー使用量原単位は5年度平均0.09%減少に留まり、削減目標1%に未達となりました。2024年度はさらなる省エネを推進し、エネルギー使用量原単位前年比1%削減を目指します。

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (計画)
エネルギー使用量 (単位: kl)	17,543.25	17,272.43	17,163.14	17,731.67	18,087.35	17,892.89
エネルギー使用量原単位 (単位: kl/m ² ・h)	10.71	10.14	10.03	10.44	10.67	10.56
前年増減率 (単位: %)		-5.32%	-1.08%	+4.09%	+2.20%	-1.00%

ライトダウンキャンペーンの継続的な実施

環境省が地球温暖化対策の一環として呼びかける、ライトアップ施設や家庭の照明を消灯する「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に2003年より参加し、2023年度は125.3kwhを削減しました。



アトレ四谷

カーボンオフセットグリーンへの導入

アトレ四谷では、2011年度のリニューアルを機に、館内の緑化にカーボンオフセットグリーンを導入し、2023年度は6.62tのカーボンオフセットを行いました。付加された排出権は非営利法人を通じて国に無償移転し、国の温室効果ガス削減等に貢献しています。



廃棄物排出量の削減とリサイクル率の向上、3Rの取り組み推進



サーキュラーエコノミーへの移行を推進するために、ショップと協力し合いながら、3R (Reduce・Reuse・Recycle) の取り組みを実施しています。廃棄物の排出量削減やリサイクル率向上、廃棄物を資源と捉えた再利用の実現を目指しています。

廃プラスチックの資源循環

レコテック株式会社が展開する東京都実装化事業「pool事業」へ参加し、廃プラスチックの資源循環の実現を目指しています。2024年1月より、アトレ恵比寿において、衣料品ショップからプラスチックごみとして排出される軟質ビニールを回収する取り組みを試行しています。

- 2023年度実績 (2023年1月~3月) | 150.7kg
- 参加ショップ数 | 14ショップ



フードリサイクルの取り組み

アトレ17店において、発生する食品廃棄物を株式会社Jバイオフードリサイクルが回収し、バイオガス発電に再利用する取り組みを行っています。

対象店

アトレ恵比寿本館、西館/アトレ目黒1、2/アトレ五反田1、2/アトレヴィ大塚/アトレ大井町、2/アトレ大森、2/アトレ四谷/アトレ信濃町/アトレヴィ東中野/アトレ浦和/アトレ秋葉原1、2

- 2023年度実績 | 1,137,785kg



紙資源のリサイクル化

2023年2月より、アトレ本社に機密書類回収BOXを設置し、不要になった書類の回収を行っています。シュレッダー処理をしていた書類を「安全」に回収して溶解処理を行い、リサイクル化を推進しています。

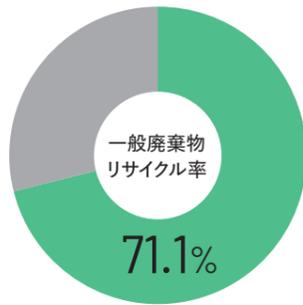
- 2023年度実績 | 616kg

廃棄物（一般・産業）の削減

一般廃棄物・産業廃棄物については、目標を定め、排出量削減・リサイクル率の向上に努めています。

一般廃棄物

- 2023年度目標
リサイクル率 | 75.0%
- 2023年度実績
排出量 | 8,668t
リサイクル率 | 71.1%



産業廃棄物

- 2023年度目標
リサイクル率 | 100.0%
- 2023年度実績
排出量 | 2,669t
リサイクル率 | 100.0%



生ごみ処理機の導入

食品廃棄物排出量削減およびCO₂排出量削減を目指して、2023年9月よりアトレ吉祥寺に「生ごみ処理機」を導入しています。

- 2023年度実績 (2023年9月~2024年3月) | 11,922kg

社内風土づくり、教育・啓発活動

環境担当者会議の開催

アトレ各店の環境担当者が集まり、会社全体及び各店の環境活動データの推移・法令順守の状況に加え、情報交換、好事例や環境トピックスの共有などを行うための会議をキックオフしました。2024年度は年4回、リアルとオンラインの併用開催を予定しています。



エネルギー管理講習 (新規講習) の受講奨励

省エネ法に基づくエネルギー使用の合理化等に関して、必要な知識と技能を習得することを目的に法定講習の受講を奨励しています。2023年度末時点での取得者数は67名となりました。

グリーン購入の実践

コピー用紙をはじめとした事務用紙製品は原則として再生紙を購入・使用し、環境負荷低減を図っています。消耗品全般についても、環境への負荷が低い製品を優先して購入しています。

JR東日本「ふるさとの森づくり」への参加

JR東日本の取り組みである「ふるさとの森づくり」に毎年参加しています。自然への感謝の気持ちを持ち、生物多様性を守り、持続可能な社会へ貢献するため、その土地固有の樹木を植えて森を再生させる活動です。



アトレ四谷

『atré YOTSUYA ART WEEK』アートと廃材を組み合わせたサステナブルなイベント

アトレ四谷では、2023年10月3日(火)~31(火)、『atré YOTSUYA ART WEEK』と題し、アートと廃材を組み合わせたイベントを開催しました。廃棄される布にアーティストが手描きをしたタペストリーを用いた館内装飾や廃材で作るワークショップ等を通じて、アトレ四谷からサステナブルな取り組みを発信しています。

働きがいと生きがいをつなぐ 人権

human with atré

JR東日本グループ人権基本方針に基づく 人権尊重の取り組み

教育と研修

JR東日本グループは、2023年3月に「JR東日本グループ人権基本方針」を策定しました。当社はこの方針に基づき、お客様、地域の皆様、ビジネスパートナー、社員等すべての人々の人権尊重の取り組みを推進しています。また、2024年3月には、人権意識の向上を目的として、全社員を対象とした人権啓発研修を実施しました。

公益通報窓口の設置

社内に公益通報の窓口を設置するとともに、JR東日本グループの内部及び外部に設置されている窓口を指定し、法令や企業倫理に反する行為や、反する恐れのある行為、人権を侵害する行為等を認識したときに、相談・通報できる体制を整えています。また、研修等を通じて、公益通報窓口について社員に周知しています。



障害者差別解消法改正に伴う 基本方針の策定

2024年4月の障害者差別解消法改正により、それまで努力義務とされた「合理的配慮の提供」が義務化されます。これを踏まえ、当社でも共通認識を持ち、共生社会の実現を目指すための基本方針を策定し、個々の場面ごとに柔軟な対応ができるよう、今後、事例共有やケーススタディを進めてまいります。



働きがいと生きがいをつなぐ
human with atré

顧客満足・従業員満足

誰もが快適で安心して利用できる空間づくり

お客様のお声の収集と改善

お客様ニーズを知ることが顧客満足向上の第一歩です。多角的にお客様の声の収集・蓄積・分析をし、期待に応えるサービスの提供や改善に努め、日々顧客満足向上を目指しています。

安らぎを感じるグリーンの演出

共用部に自然を感じるデザインや四季折々の花や緑を使った植栽を取り入れ、忙しい日々のなかでお客様がほっとリラックスできる空間を演出しています。

居心地のよい休憩スペース

訪れたお客様にゆったりとした時間を過ごしていただきたいと考え、カフェのような椅子や植栽を設置し、館内の雰囲気と合わせた休憩スペースを設けています。

使い心地のよいトイレや授乳室の整備

清潔感や使いやすさを大切にするとともに、館内の空間デザインを考慮しながら、お客様がより快適にお使いいただけるようトイレや授乳室を整備しています。

2023年度の取り組み

アトレ恵比寿の授乳室をリニューアル

安心してご利用いただけるのはもちろん、お子様にも使用できるショップ商品のテスターを設置しています。ママやパパの気分が晴れやかになるワンシーンを彩りたいとの願いを込めました。



ショップクルーが働きやすいショッピングセンターへ

クーラウンジ（休憩室）の整備

日々忙しく働くクルーがリフレッシュできるような空間づくりを心がけるとともに、自動販売機や給湯器、充電用コンセントなどの設備を設け、快適に休める環境を用意しています。

従業員割引制度

同じ館で働くクルーが便利にお得にアトレ内のショップを利用できるクルー優待制度を設けています。他ショップを利用した際の気づきが自ショップ運営のヒントになることも期待しています。

研修制度の充実（CSサポート研修）

リアルショップとしての魅力を磨くために、本社主催で顧客視点を重視したCSサポート研修を開催。各店では、独自に抱える課題をショップと共に解決するためのテーマ別研修を定期的実施しています。

各種表彰制度

モチベーションアップにつなげるため、売上表彰や、模範行動を称賛するクルー表彰、館のNo.1ショップに贈られるBest of atré表彰など、定期的に表彰を実施しています。

ショップ採用サポート

昨今の求人難に苦慮されているショップへのサポートのひとつとして、掲載料無料の「アトレス タップ募集サイト」を用意しています。

2023年度の取り組み

ショップのお役立ち動画「防火防災」編を配信

安全への基本スキルを身につけることを目的に、「防火防災」のお役立ち動画を作成。ポイントを絞って、新人クルーでも即実行に移せる内容に仕上げ、いざというときにお客様や仲間、自分を守るための知識向上を目指しています。



社員の意欲や成長を後押しする 人材育成等の取り組み

頑張り・成果が評価につながる人事制度構築

社員の声から見てきた人事制度の課題を受け、2023年10月に人事制度改革を実施。職位の新設、賞与率のアップ等、メリハリのある評価・報酬制度を整備しました。

社員の発意を引き出す仕組み

会社が社員の声に耳を傾け、社員一人ひとりの考えや挑戦を尊重し、アトレのことを真剣に考える場づくりとして「ホンネ祭^{フネ}」を実施。2023年度は全14件の提言があり、それぞれのホンネに対し、関係部署を巻き込みながら検討&トレースを実施しました。

社員の意識を経営課題に活かす取り組み

定性的な組織上の強みや課題を定量的に把握するため、年に一度社員意識調査（従業員サーベイ）を実施しています。

成長につながる研修制度

意欲的にスキルアップを目指す社員支援のため、実務に関連する推奨資格（宅地建物取引士、SC経営士等）取得のための受験料・登録料の補助、指定通信教育の受講費を補助しています。

キャリア形成促進

キャリア形成の促進として社内インターンシップを実施し、専門知識の獲得や業務遂行レベル向上、様々なキャリアに挑戦するきっかけにつなげています。また、JR東日本グループの連携を活かし、社内では得られない経験や知識、人脈形成等を目的とした、グループ内出向を実施しています。



多様な社員が活躍できる組織と well-beingの実現

多様な働き方の選択

当社は副業を主体的な自己成長の場と捉えています。社外に活躍の場を広げることで、社内では得られない経験やスキルアップ、新たな知識・人脈の獲得、ウェルビーイングの向上につなげることを目的に、副業ガイドラインを策定、社員の成長機会を拡大しています。また、ライフイベントを理由に退職した社員が再チャレンジできる再雇用制度を導入しています。

育児・介護と仕事の両立支援

出産・育児に関わる制度（勤務制度・社会保険料・給付金等）について、日頃から疑問に感じていることを気軽に相談できる、育児支援相談窓口を総務部に設置しています。また、男性の育児制度活用促進につなげるため、「産後パパ休暇」を新設。男性の育児休業取得ニーズが高いとされる子の出生直後の時期に、一緒に育児を行えるよう、制度改正を実施しました。

健康経営の推進

社員一人ひとりの心と体の健康のために、人間ドックの費用を一部負担しています。さらに、定期健康診断受診率100%を目指して受診状況を確認するほか、メンタルヘルス対応の強化としてストレスチェックやメンタルヘルス研修（ラインケア研修）を実施。外部の心の健康相談室も利用可能としています。また、スポーツ施設利用費用の一部負担を行っています。

サステナビリティ指標（KPI）

人と街をつなぐ | society with atré

地域共創・価値創造

内容	2023年度 目標	2023年度 実績	達成率	2024年度 目標	2027年度 目標	単位等
連携協定を締結している自治体・団体数	-	8	-	-	-	
加盟団体数	-	80	-	-	-	
SDGsに関連したアトレ各店の取組み・イベント開催数	-	222	-	240	320	回

私たちと未来をつなぐ | environment with atré

脱炭素

内容	2023年度 目標	2023年度 実績	達成率	2024年度 目標	2027年度 目標	単位等
ゼロカーボンチャレンジ2050 CO ₂ 排出量 増減率 (基準年度：2019年度)	-	▲5.9	-	▲15.3	▲31.7	%
省エネ法 エネルギー使用量原単位	10.29	10.67	96.4%	10.56	10.24	kl/m ² ・h

サーキュラーエコノミー

内容	2023年度 目標	2023年度 実績	達成率	2024年度 目標	2027年度 目標	単位等
一般廃棄物リサイクル率	75.0	71.1	94.8%	75.0	87.0	%
産業廃棄物リサイクル率	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0	%
一般廃棄物排出量原単位	-	5.12	-	-	-	
産業廃棄物排出量原単位	-	1.58	-	-	-	
食品廃棄物最終処分量原単位 増減率 (基準年度：2020年度)	-	+17.6	-	▲20.0	▲35.0	%
ワンウェイプラスチック使用量原単位	-	7.2	-	-	-	
ワンウェイプラスチック代替素材等切替原単位	-	10.6	-	-	-	

環境意識向上

内容	2023年度 目標	2023年度 実績	達成率	2024年度 目標	2027年度 目標	単位等
エネルギー管理講習受講者累計数	-	67	-	72	-	人

働きがいと生きがいをつなぐ | human with atré

人権／顧客満足・従業員満足

内容	2023年度 目標	2023年度 実績	達成率	2024年度 目標	2027年度 目標	単位等
人権研修受講率	-	100.0	-	100.0	-	%
お客様からいただいたお声の件数	-	2,208	-	-	-	件
顧客満足度スコア (JR_CSI調査)	4.0	3.6	90.0%	3.7	4.0	スコア
テナント従業員満足度スコア (JR_CSI調査)	5.6	5.7	101.8%	5.8	6.0	スコア

人材育成・well-being

内容	2023年度 目標	2023年度 実績	達成率	2024年度 目標	2027年度 目標	単位等
所定外労働時間	10.0	10.5	95.0%	10.0	-	h/月
有給休暇取得率	85.0	93.9	110.5%	90.0	-	%
女性採用比率	-	76.9	-	-	-	%
女性労働者比率	-	60.9	-	-	-	%
女性管理職比率	-	31.3	-	-	-	%
男女間賃金差異率	-	71.0	-	-	-	%
男女間平均勤続年数差異率	-	94.0	-	-	-	%
中途採用比率	-	30.8	-	-	-	%
平均勤続年数	-	14.0	-	-	-	年
平均年齢	-	39.7	-	-	-	歳
離職率	-	2.0	-	-	-	%
男性育児休業取得率	-	33.3	-	-	-	%
女性育児休業取得率	-	100.0	-	-	-	%
障害者雇用率	-	1.36	-	-	-	%
研修受講者率 (研修受講者数/社員数)	-	84.8	-	90.0	100.0	%
ビジネスマネージャー検定合格者管理職比率	-	3.1	-	80.0	100.0	%
ITパスポート取得者率	-	2.3	-	25.0	100.0	%
健康診断受検率	-	99.3	-	-	-	%
ストレスチェック受検率	-	92.1	-	-	-	%

表紙の作品について

作家 | 笹山勝実
unico / はじまりの美術館

笹山の制作は、スタッフが声を掛けることではじまる。「どうぞ」という一言をきっかけに、彼女は伸びやかに筆を走らせていく。力強い丸や、色とりどりの線。一本一本丁寧に、ぐっと力を込めて、机を覆うように着席した彼女の胸元から外側に向けて線は引かれる。多くの作品は、筆跡が紙からはみ出ており、彼女の力強さとおおらかさが表れている。

表紙には、異彩作家とともに、新しい文化をつくるアートエージェンシー「HERALBONY」が契約する作家の作品を起用しました。力強く大胆な輪と、のびやかな色彩が、アトレのサステナビリティメッセージ『with atré アトレとともに未来へつなぐ』に込めた、「つなぐ」「多様性」のイメージを想起させます。

atré

2023年度 サステナビリティレポート

対象期間 | 2023年4月～2024年3月
2024年6月発行

株式会社アトレ
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号
恵比寿ネオナート6F

<https://www.atre.co.jp/company/>